

〈一〇三月の法座案内〉

修正会

〇一月 一日（月）七時〃

輪番

ご門徒新年会

〇一月 三日（水）九時半〃

輪番

宗祖を訪ねて

〇二月 三日（土）十四時〃

輪番

〇三月 三日（土）十四時〃

輪番

味読正信偈

〇一月十三日（土）十時〃

輪番

※引き続き三日講新年会

〇二月十三日（火）九時半〃

輪番

〇三月十三日（月）九時半〃

輪番

歎異抄を読む

〇一月二十三日（火）九時半〃

列座

〇二月二十三日（金）九時半〃

列座

春季彼岸会・永代経

〇三月二十三日（水）九時半〃

講師 樹洩陽舎舎幹 栖雲深泥師

〈結婚式〉



九月十六日挙式

平等久仁子さん
植田健太郎さん

十月十五日挙式

菅井 晴子さん
皆穂さん

十二月二日挙式

武田 香澄さん
畑中 正樹さん

結婚式予約状況

二〇一八年

☆二月十八日

二月二十五日

三月十七日

六月十七日

七月二十九日

八月四日

八月二十六日

※詳細はホームページをご覧ください

某家

某家

某家

浅田・松澤家

某家

某家

某家



光寿無量

宗教は、解決できない問題を荷負し、それが課題となることである。

〃藤元正樹〃

皆様方と共に新年を迎えることが出来たこと、本当におめでとうございます。

時代混迷のなかで、不安を抱えながら、共に新年をお迎えいたしました。

現代は、政治・経済・教育・宗教など多方面・多分野において問題が山積し、その問題に囲まれて生活しているのが私という存在であろう。また、時代の諸問題は、新聞やテレビニュースで見聞きして、そのほとんどを私自身、承知しているつもりでいる。

藤元（ふじもと）正樹（まさき）先生は「問題と課題とは違う。問題は、私たちとの関係ないところで生じ滅していく。一難

へ列座のつづやき

二〇一七年もあつという間に終わりました。昨年何かとお世話になりました。ありがとうございます。

「鏡池だより」を作っていると、いろいろな行事があつたことを思い出しますが、振り返ってみると早いものだなど、ありきたりな感想しか思い浮かびません。

この一年も笑ったり、怒ったり、泣いたりしたのですが、特に「これをした」というものも残していないのに、一年が終わると何の根拠もなく「一年間やりきった」という達成感を毎年持つているような気がします。

「鏡池だより」が出来た後も、郵便物の仕分け、年賀状の作成などなど仕事は山積しているのですが、年が変わるというだけで区切りがついた気になっています。

何もしなくても一年、何かをしても一年、同じように過ぎていくのに、自分の過ごし方によっては、自分の都合の良いように、今年も「区切り」をつけようと思います。（近藤）

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派（東本願寺）

岡崎別院

〒606-8335

京都市左京区岡崎天王町

26番地

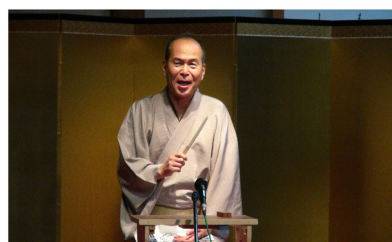
電話・FAX 075-771-2921

http://okazakibetsuin.com

info@okazakibetsuin.com



当日の堂内



笑福亭仁智氏の落語



津軽三味線の演奏

落語と津軽三味線の夕べ

十月十三日、山城第二組主催による「落語と津軽三味線の夕べ」が開催された。津軽三味線の演奏は、はたこうじさん・野村格さん。有名曲など多数の曲が演奏され、予定時間をオーバーするほどの盛り上がりを見せた。

津軽三味線の後は笑福亭仁智さんによる落語が行われ、本堂はたくさん笑いの声で満たされた。

二〇一七年度岡崎別院報恩講

十月二十三日、信悟院殿御参修、真城義麿師御教導によって、当院の報恩講が厳修され、総勢およそ百三十名が参勤・参詣に訪れた。

本山定衆・堂衆・参衆並びに山城一組・二組組内法中が出仕され、岡崎別院雅楽会による楽が奏でられる中、お勤めが行われた。

お勤めの後、「釈尊の目覚めと親鸞聖人の目覚め」という講題で真城師による法話が行われた。参詣の方々はそれぞれにうなずくなど、熱心に聞き入っておられた。

また、法話後には参勤・参詣の方々に



当日の山門



室内での勤行



講師 真城 義麿師



御俗姓の拝読

お斎が配られた。持ち帰られる方その他、書院や庭園に用意された床机で召し上がるなど様々な姿が見られた。

あわせて茶室「翠雲亭」では抹茶接待が行われた。

台風接近により非常に天候の悪い中、沢山の方々に来院頂きました。誠にありがとうございました。



参詣者



岡崎別院雅楽会

南米開教師別院研修

十月六日〜十二日までの間、南米開教師候補の甘城康弘氏が別院にて研修を行いました。

朝の晨朝勤行から閉門まで別院で研修を行い、報恩講前のおみがき、声明講習にも参加しました。

また、研修の一環として、期間中に列座随行のもと、親鸞聖人の御旧跡巡りを行いました。

南米開教師候補
甘城康弘氏

青蓮院への参詣

秋季彼岸会



板橋宏憲師

九月二十三日、秋季彼岸会が開催され約三十名が参詣された。お勤めの後、本願寺派奈良県教学寺住職の板橋宏憲師による法話が行われた。

講題は「見えぬけれども有るんだよ」

帰敬式



受式者代表による誓いの辞



法名伝達



剃刀の儀

去る十一月四日、別院本堂で帰敬式が執行された。

別院御門徒、三日講員へ希望者を募り六名が受式された。

剃刀の儀の後、受式者それぞれに輪番から法名が渡され、法話の後、それぞれ法名に、また帰敬の儀式を受けることの意味などが輪番より説明された。

*別院では帰敬式のお申し込みを随時受け付けています。受付け希望の方は、別院までお問い合わせ下さい。



それぞれの法名の説明

報恩講前清掃奉仕



本堂内の清掃

十月十六日、山城第一組、第二組並びに仏青主催の元、報恩講前の清掃奉仕が行われた。天候不良の為、例年とは異なり別院建物内を主とした清掃を行って頂いた。内陣の清掃や廊下・窓ガラスの清掃など多数の方にご協力いただいた。



みんなでおみがき



終了後のカレー

報恩講前おみがき

十月九日、三日講員・ご門徒の他、暁天講座にてご縁を頂いた方々の参加のもと報恩講に向けたおみがきが行われた。

終了後はミニ法話が行われ、参加者全員で特製カレーを頂いた。